

浅井町ふれあいたより



第 128 号

重点施策「安全で安心なまちづくりと子どもたちの健全育成」

令和 5 年 8 月 1 日 発行

発行者 浅井町地域づくり協議会 一宮市浅井町前野字郷西 85（浅井町出張所内）

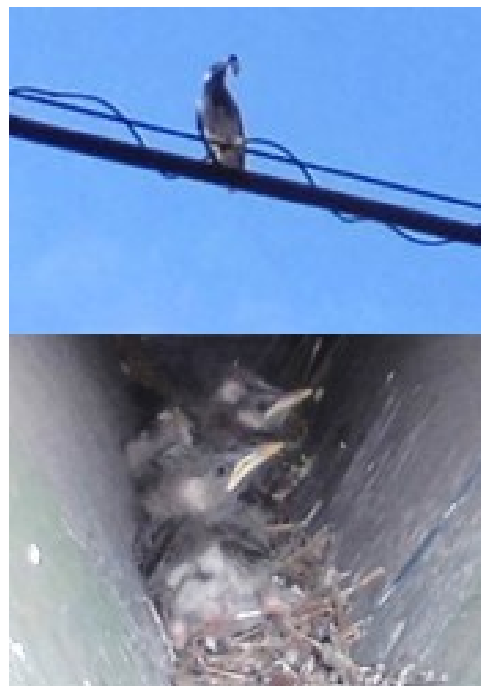
ホームページ 138azai.org(検索「浅井町地域づくり」または上記 QR コードから検索)

【鳥の子育てに学ぶ】

一宮市立浅井中小学校 校長 高木 千豊

本校の屋内運動場では、屋根裏に繁殖期を迎えたムクドリが巣を作りました。卵が無事かえりました。毎朝、親鳥が雛にえさをとってきます。親鳥が巣に近づくと、雛は元気な鳴き声を響かせています。

大阪府高石市の小学校で校長を務め、教育評論家で児童文学研究を試みえた吉岡たすく氏は、鳥の子育ての姿をとおして、以下のように述べてみえます。鳥の卵を親鳥のぬくもりと同じになるようにデータをとり、その結果どおりの温度で温める人工ふ化をした雛と親鳥が温めてかえした雛とでは、人工ふ化をした雛のほうが弱いという結果が得られたそうです。人工ふ化では、常時同じ温度で卵を温めるのですが、親鳥が温める場合はそうはいきません。親鳥もお腹がすきますから、えさを取りに行きます。親鳥が飛びたったとき、何時間か卵が冷やされる状態になってしまいます。この程よい時間、冷やされることが、生まれてくる子を強くするのではないだろうか。子どもを強くするには、温かさ



だけでなく、程よく冷やす心も必要だということです。無理に叱ることはありませんが、ときにはビシッと叱ることも大切なことだと。さらに、親鳥は卵からかえった雛を育て、やがて成長すると飛び方を教えます。親鳥は枝の上を少しずつ先の方に移動していき、そこで待ちます。子どもたちが飛び、しかし三羽の子どもがいれば、三羽とも同じように飛べるわけではありません。飛べない子どもがいるとじっと待ちます。親鳥はピーピー鳴いているだけです。（おそらく人間だとそばに行って手を差し伸べるのでしょう）飛べたら、次はこっちの枝、その次はあっちの枝と親鳥は少しずつ離れていきます。ある程度子どもたちが飛べるようになったある日、親鳥はえさを取りに行ったまま、子どもが待つ巣には帰ってきません。お腹を空かした子どもは、やがて自分でえさを探するために飛び立っていくのです。これが、子どもたちの自立のための子離れだと。

本校の屋内運動場、屋根裏の雛たちも、温かい親鳥の愛情と程よく冷やす心を受け、自立して飛び立っていく日を楽しみにしています。

浅井中小学校ウェブサイトでは、日々の子どもたちの様子を配信しています。携帯電話やスマートフォンでも見るができますので、ぜひご覧ください。

URL : <http://www.school.city.ichinomiya.aichi.jp/~azaina-e/>



第53回 スポーツ大会

6月10日(土)浅井中小学校の運動場で浅井連区児童育成協議会主催のスポーツ大会が開催され、10町内の子ども会から約200名と来賓、役員50名の合計250名が参加しました。

競技は役員で考えた『あざいっ子トライレク』で2通りのボール送りと、2本の棒を使ってのボール運び、最後に靴飛ばしをしてタイムを競いました。競技中、高学年の子が低学年の子に優しく声をかけ、寄り添いながらボール送りやボール運びをする姿をあちらこちらで見かけ、感心しました。競技終了後は、参加賞のお菓子をもらい、記念撮影をして帰路につきました。

屋外で子ども達がマスクを外して元気いっぱいに競技を楽しんでいる姿を見て、とても幸せな気持ちになりました。



開会式



ボール送り



ボール運び



←靴飛ばし

シニアグラウンド・ゴルフ大会

6月18日(日) 第25回浅井町シニアグラウンド・ゴルフ大会が大野極楽寺公園内の公認グラウンド・ゴルフコースで開催されました。汗ばむような陽気の中、80名近い参加者がまさに熱い戦を繰り広げました。



競技結果(敬称略)

優勝 脇田悦子(河田) 準優勝 酒井奉文(大野)
3位 成瀬國満(大日比野) 4位 堀田昭二(東尾関)
5位 南谷月子(大野)



浅井町グラウンド・ゴルフ大会のお知らせ

下記の日程でグラウンド・ゴルフ大会を開催します。浅井町在住の方、参加無料

開催日 令和5年9月3日(日) 午前8時30分～ 雨天予備日 9月5日(火)
開催場所 大野極楽寺公園内グラウンド・ゴルフ場
申し込み お近くのグラウンド・ゴルフ会員に8月16日までに申し込みください

第一回 浅井町スポーツフェスティバル



バレーボール



野 球



ソフトボール



剣 道



卓 球

6月18日(日)浅井公民館主催による小学生以下の子ども達を対象にしたスポーツ体験会が開催されました。

コロナ禍の3年間に外で遊ぶ機会が減った子ども達に、スポーツを通じて体力づくり、健康づくりに役立ててもらおうことを狙いに、浅井中学校と浅井中小学校の体育施設で「バレーボール」「卓球」「剣道」「野球」「ソフトボール」の5種目を、連区内の体育クラブのメンバーに指導していただきました。

当日は子どもと保護者合わせて約200名が集まり、それぞれの種目を体験して楽しい時間を過ごすことができました。公民館では来年度以降も継続して催していきたいと考えています。

親子バルーンアート教室

6月24日(日)浅井公民館において『親子バルーンアート教室』(主催：浅井公民館家庭学習部)が開催され、1歳から11歳までの子どもとその保護者、計13組37名が参加しました。

みなさん楽しそうに風船を膨らませて、思い思いの作品を作っていました。中には膨らませすぎてしまい、あちらこちらで風船が割れる音が響き、そのたびに会場内にはキャーキャーとかわいい声が響いていました。それでも、『剣』『スパイラルアロー』『ウサギ』などの作品を作りあげて持ち帰ることができました。

最後に連区公民館長の川原さんからは「公民館ではこれからも『お楽しみ映画会』や『親子おり紙教室』などの楽しい行事を開催しますから、またみんなで遊びにきてください」と挨拶がありました。



KYT(危険予知トレーニング)講習会

7月2日(日)浅井公民館大会議室と中会議室で児童育成協議会主催のKYT講習会が行われ、14の子ども会の親子81名と役員13名の94名が参加しました。救命救急講習は『チームプッシュハート』の方々に、実技、指導をしていただきました。また、座学のKYTは児童育成の役員2名が担当しました。

感染予防対策として2つのグループに分かれ、救命救急講習では機械などを使い、胸部圧迫法(CPR)とAEDを習いました。危険を予知して未然に防ぐために1枚のイラストをみんなで見てこの中にどんな危険があるか、話し合いをします。その後、グループの代表者が発表し、意見交換をしました。子ども達からも活発な意見が出ていました。救命救急講習で得た技術で、一人ひとりが救命に興味を持ち、「共助」



の輪を広げていくことができれば、と思いました。

たなばた会

楽しかったよ



7月1日(土)午前10時から浅井児童館で「たなばた会」が開催されました。心配された雨も上がり、30名弱の参加で予定通りの開始となりました。

先生の挨拶から始まり、高学年の実行委員さん達が考えた「笹竹かざり」「天の川リレー」「おりひめ・ひこぼしタクシー」の3つのゲームを4つのグループに分かれて楽しみました。

「笹竹かざり」では、願い事を書いた短冊を壁面につくられた笹竹に貼ったり、小さな七夕飾りをスポンジの柱に刺して、たなばたツリーを作りました。

ゲームは小さな子でも出来るものでしたが、減点があったりしてハラハラドキドキでした。最後にゲームの結果発表があり、作った飾りと実行委員さん手作りのプレゼントをお土産にもらい、楽しかった「たなばた会」を終えました。



浅井町夏祭り日程

7月29日(土)	河端町内盆踊り大会	19:00～
8月5日(土)	河田盆踊り大会	19:00～
5日(土)	黒岩祇園祭り	19:00～
13日(日)	東浅井納涼盆踊り大会	19:00～
※6月末時点の予定です。詳しくは各町内会まで		

黒岩祇園祭



細川さん 大野会長 伊貝さん

一宮警察と防犯協会から感謝状

6月19日(月)尾西生涯学習センターで中野市長をはじめ多数の来賓が出席して、一宮防犯活動連合定期総会が開催されました。

席上防犯活動に貢献した方に一宮警察署と防犯協会から連名で感謝状の贈呈が行われ、浅井町からは12年間子どもの見守りをされた、黒岩の伊貝守男さんと振り込み詐欺を未然に防いだ東尾関の細川孝夫さん、それに浅井防犯パトロール隊に贈呈されました。

8月の行事予定

1日(火)	町会長会⑤	3日(木)	小学校出校日
5日(土)	浅井公民館おたのしみ映画会	16日(水)	地域づくり協議会役員会
17日(木)	成人学習③	21日(月)	小学校出校日
21日(月)	交通安全街頭監視日	23日(水)	資源回収日
24日(木)	成人学習④		